

# あつま

## 議会だより

6月定例会号

No. 136

平成21年7月発行



ブロッコリー収穫作業 (豊川・佐々木農場)

目次	掲載ページ
○委員会活動レポート	
・総務文教：公用車管理状況、フォーラムビレッジ開発状況、 総合ケアセンターの状況、図書館の読書環境	2
・産業建設：第5次農業振興計画の年次検証、グリーンツーリズムの推進	3
○一般質問	
・厚真町新総合計画・財政運営・追加経済対策……………井上次男	4
・肺炎予防接種……………木戸嘉則	5
・裁判員日当・手数料の管理・グリーン・ツーリズム・ マイマイガ対策・追加経済対策・地域情報化……………下司義之	6
・厚真町教育計画……………海沼裕作	7
・公営住宅・要介護者対策……………木村幸一	8
○研修報告	9
○町内行政視察	10
○議決案件（賛否状況）	11
○臨時議会報告、あとがき	12

# 動レポート

## 概要

### 総務文教常任委員会

委員会は去る4月22日、事務調査現地調査を行い、その結果を第2回定例会に報告した。事務調査4件、現地調査2件より抜粋。

#### 公用車 管理状況

**Q** タイヤ交換などを職員がやっているが、地域経済を考えたときに厚真町の財政健全化を優先するか地域経済の健全化を目指すか、一貫性がないといけないと思うが。

**A** 地域経済の活性化のために外注あるいはアウトソーシングしていく方法もある。最近は毎年削減方向で予算編成されているので削減はしてきている。

**Q** 車検の発注方法はどうなっているか。

**A** 特殊なものを除いて、ほとんど地元業者全社から見積もりを取っている。

#### フォーラムビレッジ 開発状況

**Q** ルーラルビレッジの転売希望はどうなっているか。

**A** 現在転売したいという方は20件ほどいる。そういうふうな物件

が余っているにもかかわらず、フォーラムビレッジでも同じようなことを繰り返すのではという心配があるが。



**A** 20件というのは全体280区画の1割くらいで、これは仕方ない歩留まりという考え方でこの計画を進めている。

**Q** 出入り口が1カ所というのは防災上問題があるのではないか。火災が発生したときなど検討の余地があると思うが。

**A** イメージがようやく出来た状態である。細かい点はこれから形を作っていくことになる。

#### 総合ケアセン ターの状況

**Q** 機能訓練室の指導員は地元で育成できないか。

**A** 運動実践・健康運動指導師が正式な名称だが、それなりの専門学校まで行って勉強し、資格も取っている方である。

**Q** プールのカビが今回目立っているが、利用者から苦情はないか。

**A** 年に一回、8月に専門の業者に来てもらってやっている。

プールの水質検査は毎月行っている。



#### 図書館の読書環境

**Q** 基本的なことだがいまの図書室の環境で良いのか。

**A** 道立図書館のアドバースを受けることになっているので、それも含めて理解をしていただきたい。



**Q** 施設が空いたときにそこに図書館か図書室をつくるなどの構想はあるか。

**A** そういう事例が出てきたら、考え方としても少し活用を高められるように、出来るだけ改善をしたいと考えている。

# 委員会活

## 産業建設常任委員会

### 質

### 疑

委員会は去る4月23日、事務調査現地調査を行い、その結果を第2回定例会に報告した。事務調査5件、現地調査2件より抜粋。

### 第5次農業振興計画の年次検証

**Q** 現在の販売農家の数はどのくらいか。

**A** 農業経営実態調査でいくと、平成20年度の農家戸数全体で460戸になっていて、この中には30a以下の農家戸数も含まれていて、この戸数が40戸程度ある。今現在の販売農家については420戸と想定している。

**Q** 認定農業者の目標所得は現在440万円であるが、当初目標から金額を下げたことに対して検討されたことがあるのか。

**A** 第5次計画が出来上がった当初は一経営体当たり580万である。平成18年度に、今の水田畑作経営所得安定対策への加入件数をいかに高めるかということで見直しを行った。

**Q** 新規就農者対策にどう取り組んでいくのか。

**A** 農作業経験を1ヶ月程度研修していただく。

農業に対して、将来自分が自信を持って職業として選択していくかどうか判断していただく。また、短期研修の受け入れも進める予定である。

### グリーン・ツーリズムの推進

**Q** グリーン・ツーリズムを日本語で表現する適当な言葉はないか。

**A** 農村滞在型の余暇活動全体を指しており、市民農園、観光農園、農産

加工、直売所、農家民宿、農家レストランなどを包括的に表している。

**Q** 産直が注目されてきているのではないか。

また、厚真の食材を他の市町村で厚真産としてPRできるような店と提携するのはどうか。

**A** 厚真の農産物が町内で手に入りやすくなるよう、農協とも話をしたところである。

また、町外へのPRは人脈等を駆使しながらと考えている。

**Q** 市民農園などの農家収入の見込みはどの位になるか。

**A** 田んぼオーナー制度では1a当たり2万5,000円、修学旅行は一人一泊二食で8,000円である。



市民農園として開設された山川農園

# 問う！！

## 厚真町新総合計画・財政運営・追加経済対策

### Q 今年度の重点課題は

**A** 移住・定住対策、子育て支援、農業対策を中心に据える

#### 厚真町のビジョン

**問** 厚真町の将来のビジョンをどう考えているか伺いたい。

**町長** まちづくりビジョンは、自然と共生するまちづくりをベースに、六つの柱を着実に進めたい。第一に、財政運営の健全化。

第二に、子育て支援・定住促進、経済活動をけん引する若い世代のエネルギーを呼び戻す。

第三に、社会福祉の充実と健康管理へ積極的に関わり、暮らしの安心を保障する。

第四に、産業基盤整備の推進や豊かな資源を生かした活力ある地場産業の振興。

第五に、子どもたちが豊かな自然の中、たくま

しく健やかに育てるような教育環境を整える。

第六に、安心・安全・快適な暮らしのため、河川、道路、上下水道など社会基盤を整備する。

#### 厚真町のキャッチフレーズ

**問** 「いのち満ちる農の里あつま 大いなる田園の町」は厚真のキャッチフレーズではないのか、新たにキャッチフレーズを考えていくのか。

**町長** 計画において「まちづくりの基本テーマ」として、目標の意味で使っている。

町を積極的にPRする上、町のイメージを端的に表すキャッチフレーズは有効であり、効果的と思っている。職員と知恵を絞りながら、厚真町を連想しやすいものを模索



井上次男議員

して行く。

#### 厚真町の財政状況

**問** 町の財政運営等について、平成20年度の財力指数はどのくらいなのか。また、今後10年間の財源推計は出ているのか。

地方交付税の積算基礎における、一般行政費以外の経費はどのように処理されているか。本年度の執行方針で何を持って集中的又は重点的に町政を執行するのか。

**町長** 平成20年度の財力指数は3年間平均で0・622、前年と比較し0・063ポイントの減少している。これは当分下がり続ける。財政推計は27年度までは出ていて、これは9月に発表する予定である。

その後の3年間については歳出の積み上げがないので、参考という形では示すことは出来る。

地方交付税における一般行政経費であるが、平成19年度から算定方法が変わっているため、明確には分けられない。投資的経費をみるとほぼ積算にあつた使われ方をしていると思う。

重点課題については、一点目が、移住・定住対策で、上厚真地区に定住促進住宅建設と、新たな移住者向け宅地開発としてフォーラムビレッジの分譲準備を行う。

二点目が、子育て支援の充実、京町保育園の土曜日の保育時間延長、小中学生の医療費自己負担分の還元などを行う。

三点目として、農業について農地・水・環境保全向上対策、農業振興計画の改訂、グリーン・ツーリズムの推進を通じて方向付けをしたい。

#### 追加経済対策

**問** 政府の追加経済対策による、補正予算が厚真町に1億5000万円相当交付されるが、どのような事業を計画しているか。

**町長** 国の経済危機対策の一つめは、地域活性化・経済危機対策臨時交付金で、厚真町には1億5、433万2千円の内示があつた。用途には、将来に向けた地域の実情に応じた地域活性化等に資する事業という制約がある。もう一つは、地域活性化・公共投資臨時交付金で、国の補正予算で追加された国庫補助事業について、地方負担分の約9割が交付金として充当できる。国の詳細が公表されてから前倒しできる事業を優先的に選び、次に成長戦略となる産業の支援事業、その次に景気対策として緊急的に手当てする事業を行う考えである。

6月定例会の一般質問を要約してお知らせします。詳しく知りたい方は、議会事務局、議会ホームページまたは、青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。また、録画中継も議会ホームページでご覧になれます。

## 肺炎予防接種の普及



木戸嘉則議員

**肺炎予防接種の普及推進**

**問** 70歳以上の高齢者に半額助成し、生活保護世帯に無料で予防接種を受けられるようにしてはどうか。

**町長** 肺炎は、高齢の体力が落ちた方にとっては致命傷になりかねない、恐ろしいものであると承知している。肺炎の本身としては、細菌性のものと、誤嚥性のものがあると思う。

厚真町では過去3年間で154人死亡中肺炎で52人死亡しており割合は30%を超えている。

ワクチンを1回打つのに7千円前後、あつまくりニックでは5,775円で、1回打つと5〜10年免疫が持つ。効力の割

**Q**

肺炎予防接種への補助を

**A**

専門医と協議し、まず町民に周知したい

には手軽に打てる金額、たと思う。

私たちもワクチンについてはまだまだ知識が足りなかった。ワクチンの効果が住民の皆様に向けられていないと思う。補助制度を設ける前に手軽だということと効果を住民の皆様には知らせるなど、専門家の先生と打ち合わせをして今後の対応を考える。

**問** 予防接種は医療費の抑制になるのではないかと。

**町長** ワクチンの値段が安いということは共通認識だと思われ、手軽に打てるものだということがわかった。

ワクチンを接種するということとは、本人の決断なので、強制的にするわけにはいかない。皆さんが打ってもらおう気持ちに

ならなければならない。

専門家と十分相談させていたでいて、補助する制度が良いのか、病院の先生から患者さんにPRをして頂くのか、方法を打ち合わせしたい。高齢者の方が肺炎で入院すると、かなりの医療費に繋がるということも事実だと思

**問** 元気で長生きしてもらうことが、本人、家族、厚真町にとってもメリットがあると思うが。

**町長** 医療の問題なので医師と十分な協議をして合意が出来ないと町として強引に制度設計をするわけにはいかないので、ご理解いただきたい。十分に状況を分析して、先の方と打ち合わせをし、結果は別の機会に報告したい。

### みんなの町政です

### 議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は9月中旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは

☎ 27 - 2485 議会事務局までお気軽にどうぞ



Q

地域情報インフラの今後の活用は

A

健康管理、情報発信  
などを検討している



下司義之議員

**町職員が受け取る裁判員日当に対する対応は**

**問** 本年5月21日に始まった裁判員制度で、裁判員日当は一日一万円で旅費とは別に支給される。最高裁は問題ないとし、総務省も地方自治法に反しないと言っている。

**町長** 国の通達により、この報酬が日当に当たらないという見解である。特別休暇を与えながらこの日当を受けられるものと判断している。

**委託事業者が徴収する手数料の種類と管理体制は**

**問** 苫小牧市が委託する

産業廃棄物処分場の手数料着服事件で、業務上横領の罪に問われた処分場所長に3年6月の実刑判決がでた。本町の委託業務に心配はないか。

**町長** 公金を扱う委託業務は、循環福祉バスがある。平成20年度の実績で52万円ほどである。収納金は、毎月関係書類を添えて町に納めるようになっていいる。町としては、不正が起きることはないと思う。

**問** 指定管理者が徴収するもので、町条例に基づいて徴収するものは、町条例の範ちゅうで料金を独自に設定し、自ら管理している。

福祉施設については町

が直接徴収している。

上野の農業施設は、利用料金を指定管理者が徴収している。

いずれも町の監査権の及ぶもので、嚴重なチエック体制をとっていきたいと思うし、そのことで不正が起きるようなことはないと考えている。

グリーンツーリズム  
が目指すもの

**問** 畦が緑で環境がいいという農村が望ましいのではないか、産業とか所得の分野に向かっているようだが、町長の考え方は。

**町長** グリーンツーリズムは、町の自然環境をありのまま都市部の方々に訪れる方に評価されるものだと思う。

逆に体裁を付けるとか

何かを作り上げるといよりは、この自然環境を提供するという姿勢で進める場合は、それらに参加される方々のふだんの気持ちとか、もてなしの心が大事だと思う。

マイマイガ対策

**問** 公共施設についてどのような対策がされたか

**町長** 担当職員を集めて衛生サイドで駆除の指示をしている。

**問** 個人で対策に苦慮している方にはなるべく丁寧な対応をするべきだと思が。

**町長** 駆除する方法、効果のある薬剤、効果のある方法などを丁寧にPRさせていたただきたいと思う。

夏に向けての追加経済対策

**問** 夏場お盆に向けて経済対策が必要ではないか

**町長** 地域活性化経済対策交付金の活用の中で活用できるものがあればこ

れから構築したいと考えているが、夏場の時期が一番適切なのか実施時期も含めてこれから検討していきたいと思っている。

地域情報化インフラの活用は

**問** 町内の地域情報化インフラはここ数年で劇的に変わったが、今後どのように活用していくか。

**町長** これまで皆さんのご理解をいただいて、行政施設の高度情報化を図り、次に民用の情報化を図ってきた。これからは、町の方でどのような情報を流してゆくかということが大事だと思う。

また、福祉政策として双方向通信を利用した、健康管理情報通信なども検討している。

民用地は、町から情報発信するメリットもあると思う。今年の予算に計上したポータルサイトなども含めた情報発信網を作りたいと考えている。

## 厚真町教育計画

Q

少子化対策にどう取り組むか

A

地域社会への影響を踏まえて対応を進める



海沼裕作議員

学力向上対策

問 厚真町教育計画は

「3次総合計画に連動して作成した」ということでもあるので、はじめに学力を高める特別な方法はないのかということについてお尋ねする。

**教育長** 学力向上は、教育の永遠の課題であり基本的には基礎的・基本的な指導を徹底することがなによりも大切である。授業時間以外の指導にも力を入れて、基礎基本的な定着に努めている。先進的なところでは、ティームティーチングにより習熟度別指導も行われている。

道徳教育

問 規範意識と国家愛・

郷土愛が道徳ではないかと思っている。

総合学習の時間も郷土学習につながると思うが、総合学習の中で道徳を教えることが可能ではないか。

**教育長** 学習指導要領では、道徳の時間は他の教科と関連付けをもって指導することになっている。

少子化対策

問 少子化対策は、社会教育関連で他部局と連携してということになるが、どのような事をして何を変えようとしているか。

**教育長** 教育分野で少子化への対応は、少子化や高齢化が地域社会にどのような影響をもたらすかをきちんと踏まえて、生涯学習という観点から対

人材育成

問 対応を進めている。

**教育長** 起業家支援や人材育成は産業経済課との連携と思うが、企業の立ち上げに關与したことがないように思うが、どのように行うか。

**教育長** 基本的に教育分野がこの起業家支援・人材育成に關わる役割は限られるものと考ええる。情報提供を中心にして、起業家支援や人材育成の取り組みを進めて行きたいと考える。

問 ボランティア活動は、従来「無償性」・「自発性」・「公益性」・「継続性」などの原則を有する活動であると理解されてきた。ボランティア活動の支援充実促進の成果で何を期

待するか。

**教育長** 常に学びの中から支え合う仕組みを作ることを目標に、町民が關われるところはボランティア活動などにより、積極的な関わりを期待している。

問 若年者が減少していると思う。頭のよい子供ほど札幌へ東京へ出て行くのが現状である。郷土愛を培うとはどのようなものか。

**教育長** 子どもたちには、郷土の良さや文化を含めきちんと伝えながら、子ども達が自分の時代をどのように描くかは、子ども自身が自分の生い立ちを考えながら判断することが良いと考える。

町民のこえを募集

厚真町議会では、議会を傍聴した感想や「あつま議会だより」を読んでの感想、厚真町議会へのご意見を募集します。

投書について

投書される方は、用紙に自分の名前と電話番号も書いてください。「あつま議会だより」への掲載は、匿名を原則とします。

投書されたご意見・ご要望については、「議会だより」にて、その処理の結果についてお知らせいたします。なお、名前等の記入がない投書については、取り扱わないこともありますので、ご注意ください。

※投書は、FAXでも結構です。

FAX 0145-27-23328

## 公営住宅・要介護対策

**Q**

安い家賃の公営住宅が必要ではないか

**A**

建て替え、維持の発想を転換して検証したい

### 公営住宅の計画

**問** 戦後最大と言われる経済不況により、持ち家もままならず、多くの人が必要としている公営賃貸住宅の、今後の計画はどうなっているか。

**町長** 現在ある計画については、上厚真のかえで団地二棟を建て替えると建て替え事業が完了する。平成10年度に238戸あった公営住宅が、27年度には216戸に減少する。この間に情勢が変わり、1戸建てを持つのは非常に難しくなって、公営住宅の希望が非常に多くなって来ている。公募すると高倍率の応募があり、賃貸住宅の不足を実感している。

**問** 町では移住・定住を一生懸命に呼びかけているが、その人達に提供する住宅はあるか。

**町長** 21年度中に移住・定住のための賃貸住宅を、上厚真に4戸建設中である。その状況を見て、後の増築が必要かどうかを検討して行く。

**問** 安い家賃の公営住宅を望む人がいると聞くが、それについてどう考えるか。

**町長** 現在の建築コスト等から考えると将来的負担を考慮して、政策的に引き下げるのは難しい状況にある。そのようなニーズがあるようなら建て替え、維持の仕方の発想を転換して公営住宅、町有住宅の管理のあり方



木村幸一議員

からもう一度検証したい。**問** 住民もだんだんと高齢化が進み、行動に不便を感じる人が多くなり、病院や買い物に行く不便を感じる。病院や商店の近くに高齢者住宅があれば自由に行動が出来て張りのある生活ができるのではないか。

**町長** 特定の高齢者等の対応や、家賃負担対策を考慮し、シルバーハウジング等、高齢者の方々の求めているニーズを調査し、間取りや建設コストなど多角的な視点から慎重な検討が必要と考えている。

### 高齢者福祉事業・介護保険事業

**問** 高齢化が進み身体機能の低下により、要介護

者になった人達に対して町ではどのような援助をしてやれるか。

**町長** 介護保険制度の中で対応している。在宅支援が必要な方については緊急通報システムの設置や介護住宅改修補助事業、軽度生活支援事業、循環福祉バスの運行等の在宅高齢者生活支援事業のほか、生き生きサポート事業や介護予防マネジメントなど介護予防に対する地域生活支援事業、居宅介護サービス等の生活支援を行っている。

**問** 町内の老人世帯で、要介護者となった場合に、入所する所はあるか、待機者はいるか。

**町長** 町内に特別養護老人ホーム『豊厚園』80人と、認知症対応型共同生活介護『グループホームやわらぎ』9人がある。待機者は豊厚園で30人（町内者11人）、やわらぎで10人である。

豊厚園では介護保険制度のショートステイも利

用出来る。

**問** 要介護・要支援の認定を受けるにはどのような手続きが必要か、その間の期間等は。

**町長** 町へ申請をすると予備調査をし、主治医の意見徴収をし、介護認定調査会（安平、むかわ、厚真の三町で構成）にて審査する月に三回開催するので一カ月程でスピーディに手続きをこなしていると思う。





# 視察・研修レポート

閉会中に行われた研修の  
レポートを紹介します

## 北海道町村議会議員研修会に参加して

渡部孝樹議員

6月30日札幌市コンベンションセンターに於いて、平成21年度北海道町村議会議員研修会が、山梨学院大学教授江藤俊昭氏と読売新聞特別編集委員橋本五郎氏を講師に迎え行われた。

冒頭北海道町村議会議長から挨拶で、昭和37年に初めて議員研修会を開催し本年度48年を迎え、さらに本年は24年7月30日本会を設置してから満60年の節目を迎え、60年前の創立をふり返ると町村の数が265、議員数が5、500人、現在は市町村合併が進み町村の数が145、議員の数は1、775人となった。

難がある中で、地方自治も進展したとは言え町村議会を取り巻く環境は依然厳しい中にあるとした。**住民自治時代の議会の役割と課題―江藤氏**  
第29次地方制度調査会「首相の諮問機関」6月16日提出の答申内容の説明で市町村の平成の大合併はかなり強制を加えながら無理して突き進んできた。もうこれ以上できない「地理的条件」や「ポリシー」がある。今後は一区切りをつけて更なる連携のありかを探り水平的な連携や垂直的な補完などの自主的な取組が前提になる。

また、今後は地方分権改革が重要な争点になってくる。知事、市長の連合体がかなり力を持ってきている。  
それに対して地方議会がどのようなアピールを国政やマスコミにしておくっているか。  
こういう時代だから住民自治の根幹である議会が住民自治を住民の人達を背景にしながらどのように自治を考える時期にきている。  
多様な意見吸収し、多様な問題を抉りだしそしてより良い政策を実現するには議会が軸にならないといけない。

地方分権改革とか住民自治の時代と様々言うが地方分権の時代がはたして住民自治になっているか、住民自治の時代だと  
言っても本来の自治の制度設計に向けているか。これをふたつの方向から解説された。  
一つ目は、新しい自治の動きが議会を蚊帳の外に置かれて議会が取り残されている。  
改革派首長による様々な自治体改革①住民・市民参加と議会②NPMによる行政改革が議会の存在を薄めている。  
二つ目は、住民自治の時代に議会ががんばりはじめたことで地方自治の制度がおおきく変わってしまう。先駆的議会改革が自治制度を変えている。二つのこの表れかたが住民自治の時代を示しているのではないか。

### 第29次地方制度調査会答申による議会の解釈

①議会の位置づけ「住民自治の根幹を成す議会」  
②議決事件の追加が「いつそうの審議の活性化が図られる」という理由で期待されるようになった。  
答申の論議の中で総務省より、制限列挙として捉えられた事項を「必要議決事件」、条例による追加は状況に合わせて自由にできる「任意的議決事件」という新しい区分が提起された。  
③議会基本条例 議会の活動理念とともに、審議の活性化や住民参加等を規定した議会基本条例を制定するなど、従来の運用の見直しに向けた動きが見られるところであり、引き続きこのような自主的な取り組みが進められることが期待される。  
④通年議会、長期間の会期の設定による会議の開催。今後は地方分権時代、自治がよりよい制度活用し更にそれを豊かにしていく作業というものがこれからの地方自治にとって必要ではないか。住民自治は住民と共に歩むことがもつとも大事ではないか。

# 平成21年度議会議員町内行政視察

平成21年度議会議員の庁内行政視察が7月3日（金）に行われました。塵芥処理場など10カ所を視察しました。



- (上) 学校給食メニュー
- (左上) 水稻生育状況（朝日）
- (左下) 畑作生育状況（共和）
- (下) 懸案だった本郷団地  
9号線と本郷西線を繋ぐ橋



- (左) 解体される高さ 35 mの焼却炉煙突。
- (下) 資源物の保管庫に再利用される焼却施設内部。
- (左ともに安平町)



## 6月定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

### 平成21年5月1日（金）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町税条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	平成21年度厚真町一般会計補正予算（第2号）	賛成全員

### 平成21年5月29日（金）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町一般職の給与に関する条例の一部改正	賛成多数 (反対者2名) 下司議員、米田議員
	(反対者2名) 下司議員、米田議員	
議案第2号	厚真町特別職の給与に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第3号	厚真町教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第4号	厚真町議会議員期末特別手当支給条例の一部改正	賛成全員
議案第5号	平成21年度厚真町一般会計補正予算（第3号）	賛成全員
議案第6号	平成21年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	賛成全員
議案第7号	平成21年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス勘定補正予算（第1号））	賛成全員
議案第8号	平成21年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	賛成全員
議案第9号	平成21年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	賛成全員

### 平成21年6月11日（木）～6月12日（金）（定例議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
承認第1号	平成20年度厚真町一般会計補正予算（第15号）	承認全員
議案第1号	厚真町生活館条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	平成21年度厚真町一般会計補正予算（第4号）	賛成全員
議案第3号	平成21年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
議案第4号	平成21年度厚真町老人保健特別会計補正予算（第1号）	賛成全員
議案第5号	平成21年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第2号）、介護サービス事業勘定補正予算（第2号））	賛成全員



## 第4回臨時会

5月1日開会

### ■厚真町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、町民税、固定資産税など町税条例が一部改正されました。

### ■一般会計補正予算

グリーン・ツーリズム推進事業3,69万5千円を追加し、予算総額は50億8,719万1千円になりました。

## 第5回臨時会

5月29日開会

### ■厚真町一般職の給与に関する条例の一部改正

### ■厚真町特別職の給与に関する条例の一部改正

### ■厚真町教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部改正

### ■厚真町議会議員期末特別手当支給条例の一部改正

人事院臨時勧告に基づき、期末手当の支給月数について以上の4条例が一部改正されました。

### ■一般会計補正予算

財政調整基金費797万6千円、海区漁業調整委員会選挙費86万2千円が追加され、予算総額は

50億8,805万3千円になりました。

### ■国民健康保険事業特別会計補正予算

保険一般管理費6万1千円を減額し、予算総額は7億1,673万9千円になりました。

### ■介護保険事業特別会計補正予算

地域包括支援事業費9万円を減額し、予算総額は1億531万円になりました。

### ■簡易水道事業特別会計補正予算

職員人件費14万9千円を減額し、予算総額は2億4,975万1千円になりました。

### ■公共下水道事業特別会計補正予算

職員人件費を17万3千円減額し、予算総額は1億6,052万7千円になりました。



- 5月  
1日・平成21年第4回臨時議会  
27～28日・胆振支庁管内町村議会議長会第1回定期総会(洞爺湖町)
- 6月  
1日・苫小牧地方総合開発期成会定期総会(白老町)  
4日・北海道町村議会議長会第60回定期総会(札幌市)  
8日・議会運営委員会  
11～12日・平成21年第2回定例議会  
11日・議会広報特別委員会  
24日・長沼町議会視察来町  
30日・北海道町村議会議員研修会(札幌市)
- 7月  
3日・町内行政視察  
6日・議会広報特別委員会  
15日・苫小牧地方重点開発に関する要望(札幌市)  
17日・議会広報特別委員会  
22日・平成21年第6回臨時議会  
30日・総務文教常任委員会  
31日・産業建設常任委員会



厚真町の最大イベントが終わり、町民の皆様大変ご苦勞様でした。6月に入ってから天候不順が続きましたが、やっと回復しいよいよ夏本番を迎えます。今年も豊穰の秋を迎えられるよう願っています。

さて、世界では100年に一度と言われている金融不況が起きて経済は逼迫しています。また、北海道にもとうとう新型インフルエンザが上陸しました。新型インフルエンザの流行はいっ起ころわかりません。防衛策は、手洗い、うがいしかありません。毎日続けることが大切です。病気に強い身体を作りましょう。

広報委員 木戸嘉則